

研究・イノベーション学会 第35回年次学術大会シンポジウム

「大学経営の現在と未来、大学の新たな役割と挑戦」

大学に対する社会的期待が高まる中、各大学はそれに応えるため様々な改革をおこなってきています。エビデンスベースでの重点分野の設定とそれに基づく資源の投入、ガバナンス改革、積極的な広報、組織対組織の産学連携の促進、VCなどとの連携による研究成果の積極的な事業化などがその例です。

本シンポジウムでは、企業経営の視点や手法も取り入れつつ、大学の社会的機能や新たな役割を考慮した大学経営のあるべき姿や各大学の取り組み、現時点での立ち位置や新たな挑戦について、現在の大学経営の担い手のみならず、次世代の若手・中堅研究者等も含めて、広く、議論、共有することを目的としています。

また、これまで、企業経営と比べて、研究蓄積の少ない大学経営という課題に対し、何が重要なリサーチクエスチョン足り得るか、どのような大学経営研究が、大学経営実務に貢献し得るかなど、広範な分野の研究者の参画を得ながら、学会の立場から検討することを目指したいと思います。

日時：令和2年10月31日（土）15時00分～17時30分

場所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催（アクセス先は学会参加者に対し、後日連絡します）

共催：国立大学法人 東京工業大学

プログラム

開会挨拶

原山優子（研究・イノベーション学会 会長）

益 一哉（東京工業大学 学長）

司会 仙石慎太郎（東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授）

基調講演 各20分

・梶原 将（文部科学省 大臣官房審議官）

「科学技術の現状と大学改革」

・佐藤 勲（東京工業大学 総括理事・副学長）

「東工大の新たな挑戦」

・久間和生（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事長）

「科学技術イノベーション創出に向けた取り組み—三菱電機・内閣府・農研機構—」

特別講演 15分

・村下公一（弘前大学 COI 研究推進機構 教授）

「健康ビッグデータをベースとした「寿命革命」エコシステム構築戦略」

パネル討論 60分

ファシリテータ：梶川裕矢（東京工業大学 環境・社会理工学院 教授、実行委員長）

パネリスト

・梶原 将

・佐藤 勲

・久間和生

・村下公一

・江端新吾（東京工業大学 戦略的経営オフィス 教授）

・川上 玲（東京工業大学 情報理工学院 特任准教授/株式会社デンソーアイティラボラトリ シニアリサーチャ）

・土井達也（信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 准教授）

・吉田慎哉（東北大学 大学院工学研究科 特任准教授）

閉会挨拶 梶川裕矢

（敬称略）